

平成26年度商船高専卒業生進路状況

事務局

		富山			鳥羽			広島			大島			弓削			5校合計	
		航海	機関	専攻科	航海	機関	専攻科	航海	機関	専攻科	航海	機関	専攻科	航海	機関	専攻科	合計	比率
卒業 者数	本科	13	20		13	9		25	10		18	14		11	9		142	92%
	専攻科			3			0			4			3		2		12	8%
	(女子内数)	2	1	※	3	※	※	1	※	1	5	1	※	1	1	※	16	10%
	合計	36			22			39			35			22			154	100%
就職 状況	外航	2	5	1	1						3	3	1	1	2	1	20	13%
	内航	2	1		7	4		14	3		5	4	2	6	3	1	52	34%
	フェリー	1	1		2			5	1		1			1			12	8%
	探査船(海底資源)			1													1	1%
	港湾・倉庫										2						2	1%
	海運関連																0	0%
	造船・造機	1	4			1		1	2					1	1		11	7%
	海事関連団体									1							1	1%
	官公署																0	0%
	その他陸上	2	4	1		4		1			2	4			1		19	12%
	進学 大学	1	3		1			2		1	2	1					11	7%
	専攻科	2			1			2	2					2	2		11	7%
	SECOJ				1				1								2	1%
	その他(未定含む)	2	2						3		3	2					12	8%
小計	13	20	3	13	9	0	25	10	4	18	14	3	11	9	2	154	100%	
																合計	154	100%

今年度の進路状況の特徴

1. 船員を志望した卒業生の内約24%が外航海運、残り約76%が内航海運に就職している。
内航志望の傾向は定着してきていると思われる。
特に鳥羽は外航1名、広島はゼロとなっているのが目立つ。
2. この表には表示されていない各校からの報告内容を集計すると
 - ①外航20名のうち約半数の9名が大手三社（郵船、商船三井、川崎）に就職している。
 - ②鳥羽の内航13名のうち6名がU海運一社に集中している。
 - ③就職先を地域別にみると京浜地区52名、関西地区29名、地元47名、その他26名となっている。
その他の中には就職先未定者11名を含む。